

「オールウェザー」4万袋出荷

TDMシリーズ 特長生かし販路拡大へ

大成ロテック

大成ロテックの常温補修材「TDM」「TDMオールウェザー」「TDMスーパード」の売上が順調に推移している。14年度の出荷量はTDMが5万袋、TDMオールウェザー4万袋、TDMスーパードは1000袋となつている。いずれも15年以上実績のある商品で、特別な施工機械などを使わず施工ができ、TDMとTDMオールウェザーは施工後すぐ、TDMスーパードは約60分後に交通開放できる。今後の道路整備は新設から維持・管理にシフトしていくことから、補修材の施工後すぐに交通開放できる特長を生かし販路を拡大していく。

も耐久性が高いこと、全天候型で湿潤状態でも水を押し出しながら充填すること施工ができること。荷姿は30kg。TDMスーパードは、骨材とエポキシ樹脂バインダをランパックにした材料で、現場で骨材の入

つた袋にバインダを加えるだけで製造できる。特長は、温った路面でもある程度付着力が得られること、アスファルト混合物と同等以上の強度があることなどがあげられる。荷姿は骨材、バインダ(主剤)、バインダ(硬化剤)1セット。同シリーズの主なユーザーは、道路を維持管理する地方自治体などで、パッチングやポットホール、段差、アスファルト舗装などの緊急補修用として使用される。いずれもポットホールなどに充填して敷均し転圧するだけで施工は完了する。今後は施工後すぐに開放できる利点を生かして、TDM製品を中心に販売し、ユーザーや時代のニーズに合わせて既存の商品の性能アップや新商品を開発していく。

「TDM」は、アスファルト混合物に専用オイルなどを添加したもので、交通量の少ない道路や埋設工事に伴う路面の修復旧などに使われる。特長は、施工後に専用オイルなどが揮発すること、硬化すること、施工時に特別な機械が必要ないこと、施工後すぐに交通開放できることなどが挙げられる。荷姿は30kg。TDMオールウェザーは、加熱アスファルト混合物と同等の安定性と耐水性を持つ常温アスファルト混合物で、施工時の車のタイヤなどで転圧することにより特殊樹脂が化学反応して硬化する。交通量の多い道路や融雪時、梅雨時の道路の維持補修や加熱アスファルト混合物が適用できない箇所などに用いられる。特長は、TDMより



TDMオールウェザーの荷姿



ポットホールに充填